

公益社団法人 日本天文学会 理事会議事録

日 時：2025 年 6 月 2 日（月）16 時 00 分～18 時 32 分

場 所：日本天文学会 事務所（東京都三鷹市大沢 2-21-1）

（学会事務所よりオンライン会議システムを用いて開催。）

出席理事：井田茂、野村英子、百瀬宗武、勝川行雄、町田真美、鈴木竜二、酒向重行（16 時 50 分から参加）、安東正樹、廿日出文洋、大朝由美子、金田英宏（16 時 50 分退室）、吉田直紀（16 時 30 分 - 17 時 55 分）、楠瀬正昭（17 時 10 分から出席）、野澤恵、石川遼子（17 時 10 分から出席）、山村一誠

欠席理事：津村耕司

出席監事：松尾宏、山田亨

オブザーバー参加：太田耕司次期会長候補、深川美里次期副会長候補、長尾透次期副会長候補、永井洋次期庶務理事候補、美濃和陽典次期会計理事候補、日下部展彦次期月報理事候補、和泉究次期年会実行理事候補（16 時-18 時）、米原厚憲次期年会開催地理事候補、本田充彦次期年会開催地理事候補、寺田幸功次期年会開催地理事候補（16 時 20 分から参加）、新永浩子次期ダイバーシティ担当理事候補（16 時 15 分-16 時 40 分）、熊谷紫麻見次期監事候補、中村文隆次期監事候補
また、黒岩事務長代理、田口谷事務長補佐が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、理事総数 17 名のうち出席者が 12 名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また、オンライン会議システムにより出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同じく適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

I-2. 井田会長が議長を務めることを確認した。また、署名人は井田会長、百瀬副会長、野村副会長、松尾監事、山田監事の 5 名が行うことを確認した。

I-3. 前回議事録の確認

資料 2 に基づき、電磁的決議（2025 年 2 月）の理事会議事録、資料 3 に基づき、前回（2025 年 3 月）の理事会議事録がそれぞれ報告され、承認された。

II. 議題

日本天文学会の 2024 年度事業・会計に関して井田会長が総括し、勝川庶務理事に事業報告の説明、鈴木会計理事に決算報告の説明をそれぞれ指示した。また、続く各議題に関しても井田会長より提案され、各担当理事に詳細説明を指示した。

II-1. 日本天文学会 2024 年度事業報告の承認（資料 5、勝川）

2024 年度の事業報告が説明された。賛成多数で承認された。

II-2. 日本天文学会 2024 年度決算書の承認（資料 6、鈴木）

2024 年度の決算書について報告された。決算書は賛成多数で承認された。

II-3. 新規加入者の承認（資料 7、町田）

2025 年 3 月 11 日～2025 年 5 月 26 日までに正会員入会 50 名、準会員入会 7 名、準会員から正会員への移籍 5 名の申請があり、賛成多数で承認された。

II-4. 行動規範に関する細則の策定およびコンプライアンス委員会の内規の一部改定

（資料 8、野村）

前回の代議員総会の意見を踏まえた修正案が提案された。出席理事から行動規範に関する細則において処分の主体があいまいである点などの指摘があった。本理事会での様々な議論を受けて、次期理事会への引継ぎ事項とした。

II-5. 次期選挙管理委員について（資料 9、勝川）

非改選の代議員から、次期選挙管理委員 5 名が推薦された。賛成多数で承認された

II-6. 次期推薦委員について（資料 10、勝川）

次期推薦委員会 6 名（内 2 名が継続）が推薦され、賛成多数で承認された。

II-7. 次期天文月報編集委員の追加について（資料 11、勝川）

現在の委員ではカバーできない天文教育や天文学と社会のつながりを含むテーマを取り扱うために、1 名の委員の追加が提案された。賛成多数で承認された。

II-8. 次期欧文研究報告編集委員の追加について（資料 12、安東）

X 線分野の投稿数増加を見込み、当該分野の編集委員を 1 名増員することが提案され、賛成多数で承認された。

II-9. 監事の数の変更のための定款改訂（資料 13、勝川）

令和 7 年公益法人制度改正により、外部理事・外部監事の選任が公益認定の基準となったこと、外部理事・外部監事の要件、天文学会運営を知る監事 2 名が必須であることが説明された。監事は定款で 2 名と定められているため、監事を 2-3 名とする定款の改訂が提案された。参加理事からは、外部理事の選任への対応が質問され、現在も半数程度は外部理事の要件を満たす方が選任されているため、現状は問題ない旨が返答された。賛成多数で承認された。

II-10. 日本天文学会の事務長について（資料 14、井田）

佐藤前事務長が定年退職されたことを受け、新たな事務長として一丸浩平氏（現職：国立天文台・事務支援員）が推薦された。理事からは、候補者の経歴などに質問があった。賛成多数で承認された。

II-11. 年会新システムと開催地固定化について（資料 15、鈴木）

年会ハイブリッド化タスクフォースは、年会のハイブリッド開催を安定的に継続するために、インフラの整備された固定地開催を検討してきた。同時に年会実行委員会からは、年会の講演登録システムの刷新が提案されたため、外部委託した場合を検討した結果が報告された。理事からは、年会新システムの運営候補企業の優位性に関して質問があり、これに対し、他学会での利用実績があることが挙げられた。賛成多数で承認された。

III. 報告

III-1. 日本天文学会 2024 年度監査報告（資料 4、松尾、山田）

事前に提出された 2024 年度の事業報告書および財務諸表に基づき、2025 年 5 月 22 日に監査を

行った。各種事業の運営と予算の執行に基づき、事業報告書および財務諸表が報告に従って適正に作成されていることを確認したことが報告された

III-2. 移籍・退会等の報告（資料 7、町田）

2025 年 3 月 11 日～2025 年 5 月 26 日までに正会員退会 201 名、準会員退会 66 名、団体会員 1 団体、賛助会員 3 団体、の退会があったことが報告された。

III-3. 男女共同参画委員会からの報告（資料 16、石川）

日本天文学会も加盟する男女共同参画学協会連絡会の幹事学協会を輪番制に変更する提案がなされていること、その場合、日本天文学会は 20 年以内に幹事学協会を担当する可能性があること、幹事学協会の役割などが報告された。理事からは、男女共同参画学協会連絡会に所属することの意義、学会事務職員への負担、幹事学協会の選出方法などについて質問がなされた。これに対し、他の学協会と議論や情報交換する意義があること、現在の幹事学協会では学会事務職員は携わっていないこと、決定から数年は幹事学協会を定める見込みだが、その後の選出方法は未定であることが返答された。男女共同参画学協会連絡会への参加の意義を理事・代議員と共有し、幹事学協会を担当する際の運営方法に関しては引き続き議論することとなった。

III-4. 年会実行委員会からの報告（資料 17、廿日出）

2025 年春季年会以降は、次期委員長の主導のもと、準備を進めていることが報告された。i) 2025 年春季年会（茨城大学）は 1024 名（会員 986 名、非会員 63 名）参加したこと、ii) 口頭講演 508 件、ポスター講演 105 件の計 613 件だったこと、iii) 2025 年秋季年会（山口大学）は下関にある海峡メッセ下関で 9 月 9 日～11 日に開催予定であること、iv) オンライン講演も受け付ける見込みであること、(v) 2026 年秋季年会（京都産業大学）は 2026 年 3 月 4 日～7 日に開催予定であること、が報告された。

III-5. 年会ハイブリッド開催タスクフォース報告（資料 18、野村）

固定地開催でのハイブリッド開催に向け、2027 年春季年会で固定地候補地である大宮を会場とした年会を開催することが報告された。今後の活動について質問があり、一定の結果を得たため、タスクフォースは解散する旨が返答された。

III-6. 天文教育委員会からの報告（資料 19、大朝）

i) 天文教育フォーラムの準備状況、ii) 講師紹介プログラムで 1 件の紹介が成立したこと、iii) 監修者紹介プログラムは 1 件の紹介をしたこと、iv) 全国七夕同時講演会 2025 の準備が進んでいること、(v) 高校教員・高校生向け講演会＜中高生・教員と若手研究者の「天文対話」第 2 回＞が実施されたこと、vi) 女子中高生夏の学校の参加に向け、準備を進めていること、vii) IAU OAE の活動報告が行われた。

III-7. 次期理事および監事について（資料 20、勝川）

次期理事及び監事候補の紹介が行われた。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 公益社団法人日本天文学会理事会 電磁的決議（2025 年 2 月）議事録（案）

資料 3 公益社団法人日本天文学会理事会（2025 年 3 月 17 日）議事録（案）

- 資料 4 日本天文学会 2024 年度監査報告書
- 資料 5 公益社団法人日本天文学会 2024 年度事業報告書(案)
- 資料 6 公益社団法人日本天文学会 2024 年度決算監査書類目次(会計関係)
- 資料 7 加入者・移籍の承認 退会者報告(2024 年 3 月 1 日—2024 年 5 月 11 日)
- 資料 8 行動規範に関する細則の策定およびコンプライアンス委員会の内規の一部改定
- 資料 9 次期選挙管理委員について
- 資料 10 次期推薦委員について
- 資料 11 次期天文月報編集委員の追加
- 資料 12 次期欧文研究編集委員の追加
- 資料 13 監事の数の変更のための定款改訂
- 資料 14 日本天文学会の事務長について
- 資料 15 年会新システムと開催地固定化について、および補足資料
- 資料 16 男女共同参画委員会からの報告
- 資料 17 年会実行委員会からの報告
- 資料 18 年会ハイブリッド開催タスクフォース報告
- 資料 19 天文教育委員会からの報告
- 資料 20 次期理事および監事について

2025 年 6 月 2 日

会 長：井田 茂 印

副会長：野村 英子 印

副会長：百瀬 宗武 印

監 事：松尾 宏 印

監 事：山田 亨 印